

1. 研究課題名：大気環境の異なる地域における PM2.5 及びオゾンの呼吸器系への影響に関する疫学研究

2. 研究代表者氏名及び所属：  
島 正之（兵庫医科大学・医学部）



3. 研究実施期間：平成 26～28 年度

#### 4. 研究の趣旨・概要

近年、大気中の微小粒子状物質（PM2.5）の健康影響に対する国民の関心が高まっているが、国内の知見は不足している。また、光化学オキシダント（主にオゾン）濃度が増加傾向にあるが、その健康影響も十分に解明されていない。

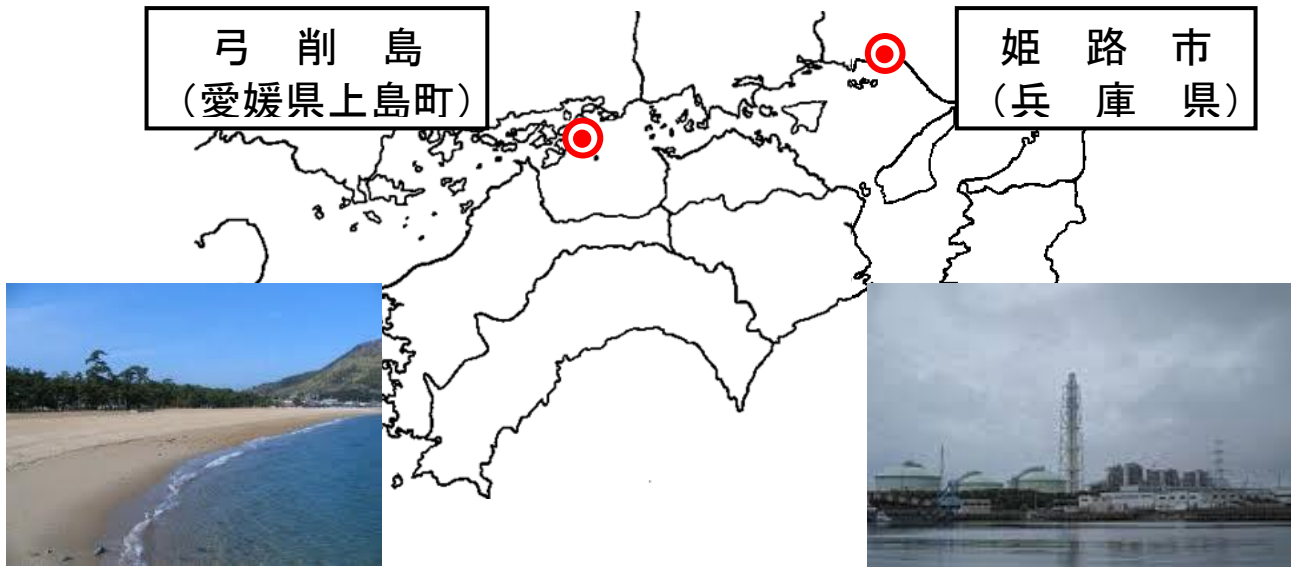
本研究は、大気環境の特徴が大きく異なる 2 地点において、気管支喘息発作、肺機能等の調査を行い、PM2.5 の成分組成及びオゾン等の連続測定を行い、発生源を解明するとともに、呼吸器系への短期的及び長期的な影響の解明を目指すものである。

これにより、PM2.5 及びオゾンと健康影響の関連が明らかになれば、国民に対する実効性のある注意喚起が可能となるなど、今後の大気環境対策への貢献が期待できる。

#### 5. 研究項目及び実施体制

- ① 都市域における PM2.5 及びオゾンの喘息発作への影響に関する疫学研究  
（兵庫医科大学）
- ② 大気清浄地区における越境大気汚染の呼吸器への影響に関する研究  
（国立弓削商船高等専門学校）
- ③ 大気中 PM2.5 の成分測定による環境挙動の解明に関する研究  
（（公財）ひょうご環境創造協会兵庫県環境研究センター）

6. 研究のイメージ



瀬戸内海海域の大気環境の特徴が異なる2地区で疫学研究を実施

健康影響評価

